

# 地域の課題解決に貢献

米オハイオ州コロンバス市のスマートシティプロジェクト「スマートコロンバス」は、クラウドベースでリアルタイムにデータ交換でき、自動運転や運行課題の解決が大きな目的だ。同市は2020年までに乳児死亡率を40%削減するため、交通データなどを収集処理するIoT(モノのインターネット)データ連携、警察やタクシードライバーによるデータ連携も行う。多

IOT 基盤導入



様な異種データが一つの基盤に統合され、収集、統合、共有が一元化される。

これらデータを利活用したビジネス化には、市、州、郡、大学、学術研究所、企業、スタートアップ企業など、コラボレーションが重要だ。地元の電力、医療、銀行、アパレル、ヘルスケアなど主要企業で構成された産学協同組織がハブとなり、コラボレーションを実

# 飾森正

イノベーション基盤としてのスマートシティー<sub>下</sub>  
践する。

四百四

新事業を創出

飾森正

市は公共データを中

企業によるデータ利活用	
スタートアップ企業	ビジネス概要
Buzz Solutions	インフラを自動運転ドローンで検査、AIで分析判断して事故予測
Altovista Technology	警察の逮捕、事故対応を過去データを基にAIで適切性分析判断
inTouch	緊急時災害時の市民とインフラを結ぶプラットフォームの構築提供
HAAS Alert	個人向け緊急時の緊急車両(警察・救急・消防など)通知サービス
AVE AutoMedia	車両シェアプラットフォームの構築とサービス提供
Mentored	行政組織、地域、企業への人材開発、教育支援サービス
GridCure	ビッグデータによる電力エネルギー等インフラ事故予測サービス
OnSeen	災害時モバイルチームの指令・制御プラットフォーム
Jade Track	IoTによる、エネルギー管理、サスティナビリティ追跡探知サービス
Nikola Labs	多様な周波数電力を使用可能な一般電力に変化する技術提供
Safe Chain	ブロックチェーン技術活用、所有権、知財処理売買、不動産取引に利用

交通以外のデータを、  
IoTデータ基盤の構  
築で共有して、交通ア  
クセスを向上すれば、  
雇用や経済の活性化に  
つながります。

も継ぐにふれる

ユーリー・ガブリエルソン  
ティーのプロジェクトに  
初期段階から参加す  
ることが必要だ。イン  
ベーション・プロセス  
に多様な方法で主体的

に関与しやすいようにするには、産学官民の協働エコシステムやハブ組織が重要である。

日本政府はデータ基  
本法を成立し、データ  
の利活用を進める方針  
を示している。今後は

卷一

貢献できる点が重要である。

## 雇用・経済活性化

コロナバースでは乳児の死亡率低下に有効であると判断した。また、センサーやデバイスからのデータと、医療や学校、食料品など

本法を成立し、データの利活用を進める方針を示している。今後は利用者の安心や安全を守りながら、企業や市民がデータを活用しやすい環境の整備に取り組む必要があるう。

（金曜日に掲載）